

いきものふれあい室

3月 観察会のお知らせ



2019年3月末で、朽木いきものふれあいの里から事業を引き継ぎ、5年の月日が経とうとしています。多くの方にご協力いただき、様々な事業を行えましたこと深く御礼申し上げます。

日付	時間	内容	対象	定員
3月10日(日) 高島市 ○	10:00- 15:00	「早春の里歩き ザゼンソウの咲く森」 ・雪解けとともに咲くザゼンソウの観察とヴォーリス建築の見学などをしながら、今津の街歩きを楽しみます。	小学生 以上	20名
3月17日(日) 米原市 ○	10:00- 15:00	「オオムラサキの幼虫を探す」 *オオムラサキを守る会と共催 ・かぶと山でオオムラサキの幼虫を探し、生息状況の調査をします。	小学生 以上	20名

*年齢対象以外の方で、参加をご希望の場合はご相談下さい。*中学生未満のお子様は、必ず保護者同伴でご参加下さい。

***2月17日(日)開催予定「滋賀の外来鳥獣の現状」につきまして**

年間スケジュールで広報しておりました2月17日(日)「滋賀の外来鳥獣の現状」は、諸般の事情により開催を中止させていただくことになりました。ご予約をさせていただいていた方には、ご迷惑をおかけしますこと深くお詫び申し上げます。ご了承のほどお願いいたします。

☆観察会の目安を「◎・○・△・◇」で表示していますので、ご参考下さい。☆

◎→自然観察・体験重視、歩行距離が短い。○→2~3時間の歩行。

△→登山を伴う3~5時間の歩行。◇→登山を伴う標高の高い山。



オススメ観察会

3月17日(日) 10:00-15:00

「オオムラサキの幼虫を探す」ご案内

6月に行った観察会「オオムラサキの棲む森を歩く」で、オオムラサキの生態学習や成虫とのふれあいを指導していただいた「オオムラサキを守る会」の樋口氏に、越冬するオオムラサキの蛹の調査と生息状況を指導していただきます。日本の国蝶で、指標昆虫のオオムラサキの生息状況を知ること、琵琶湖の森の環境について学んでみませんか？

集合場所： 道の駅 近江母の郷

集合時刻： 9:30 *集合後、自家用車で移動があります。

公共交通機関でお越しの方は、コミュニティバスでローザンベリー多和田までお越し下さい。そこからスタッフが誘導いたします。

参加費： 特にありません

持ち物：汚れても良い防寒の服装・軍手・歩きやすい靴または長靴・防寒具・レジャーシート・風食・飲み物



お申込み方法



参加者全員の氏名・性別・住所・電話番号・連絡先(携帯・メール・FAXなど)をご記入の上、メール、faxまたは郵便にて、いきものふれあい室までお申込みください。

宛先：〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津 1758 高島合同庁舎 南庁舎 2F
いきものふれあい室

イベント詳細についてお問い合わせ先
9:00-16:30 (事務所・水、金)

TEL 0740-33-7990

FAX 0740-33-7991

メール：info@greenwalker.com



(先着順) 定員になり次第、受付終了となります。

※お申し込み後、開催日が近づきましたら、メールにて集合場所等の詳しいご案内をいたします。



2019年1月12日(土)「雪の森を歩く」の報告です。

滋賀県北部の冬は、平野部でも雪が積もっていることが多く、スキー場もいくつかあります。雪が積もると、雪があるからこそ楽しめる自然体験ができるのですが、残念ながら開催日には積雪がありませんでした。雪はありませんでしたが、森の木々が落葉しているため、普段は見えないものを見つけることができ、寒い冬だからこそ感じられる自然の不思議をたくさん発見できました。



2017年度5月の観察会で歩いた道と同じ場所を歩きました。春と冬では、発見できるものが違います。ツル植物などが見つけやすかったです。

落葉しているので野鳥も見つけやすく、ジョウビタキにも出会えました。



この日は、あまり気温が下がらなかったですが、朝は水たまりの表面が凍っていました。これを外して割るのが楽しい♪



種に羽がついていて、落ちている途中、プロペラのようにクルクル回ります☆



雪玉を作ったり、投げたり・・・少しの雪でもたくさん遊べる♪



年末の大掃除は終わってしまいましたが、箒を作るため、スキをたくさん集めました。

秋は紅葉で大人気の鶏足寺！冬はちょっとさみしげ・・・しかし、この日は、お子様たちがカエデの種で遊んで賑やかでした♪

2019年1月20日(日)「びわ湖の森の明日を考える びわ湖の森 プナから見える森の変遷」の報告です。(びわ湖の森の生き物研究会主催 シンポジウム)

滋賀県は、日本一大きな湖のびわ湖がありますが、その周囲は、多様な自然からなる森があり、水源となっています。私達は、そこから水の恵みを受け、日々の営みがあります。びわ湖の森の水源地に多く広がるブナ林の実態について知り、滋賀県の森の変遷を知ることで、これからの森づくりについて考える講演でした。



ブナから見える滋賀県の森林について学びました。



リトル比良 岳山のブナ



野坂山地 大御影山のブナ

株立ちや単幹など樹形からその地域のブナ林の特徴を考えます。



パネルディスカッション

滋賀県の森林政策の取り組みや、東近江市の森づくり、河辺いきものの森づくりなど事例紹介からびわ湖の森の明日を考えました。